

わ

が

街

わ

が

故

郷

## 旭精工株式会社 名古屋支社とその周辺

### 会社紹介

大阪府堺市一条通りにて1928年（昭和3年5月）(株)エス・ケイ・アイ・ベアリング製作所として創業。1938年（昭和13年11月）資本金200万円旭精工(株)設立。翌年大阪府泉北郡鳳町大字長承寺600番地に移転（現在の本社工場 堺市西区鳳東町6丁570番地）。今年で創業以来79年になります。この間、昭和26年に日本で最初にベアリングユニットを製造販売し、昭和41年にはベアリングユニットの専門メーカーとなりました。

現在は、ベアリングユニット、エアークラッチ・ブレーキ、直線運動機器等の製造・販売をいたしております。今後とも宜しくお引き立て願います。

名古屋支社は1955年（昭和30年4月）名古屋営業所として名古屋市中区水主町に開設。その後1961年（昭和36年10月）に現在地の名古屋市中区丸の内1丁目15番26号に新築移転して46年になります。人間に例えれば46歳。立派な中年・働き盛りですが、健康面からいいますと人間同様建物もさすがに至る所に生活習慣病の諸症状が出てきており、入院（リニューアル）や手術（立て替え）が必要な時期を迎えているのが現状です。

営業地域は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県で、主に代理店様を中心としたルート販売をいたしております。会社の今期の方針としまして「21世紀型製造業への挑戦」を掲げ、顧客の満足度の追求をテーマに日夜営業に取り組んでいます。いろいろご意見・ご要望がございましたら何なりとお申しつけ願います。

### わが街（名古屋市中区）

#### 名古屋市中区概要

名古屋市は明治22年10月1日市制施行。人口157,496人でスタートし、昭和9年10月1日1,017,700人と100万人を突破し、昭和44年2月4日2,000,046人と200万人を突破、平成19年5月1日現在は2,231,727人の愛知県の県庁所在地です。

中区は名古屋市16区の中で、面積：9.36km<sup>2</sup>、人口：71,987人でともに下から3番目の順位にあります。ちなみに一番面積が大きな区は港区で45.67km<sup>2</sup>、人口が多い区は緑区の221,519人で地方都市の人口くらいあります。

中区には昼間人口流入が多く、名古屋市全体で約55万人の流入が確認されていますが、かなりの確率（統計上は発表無し）でビジネスの中心区に流入しているものと思われます。

中区は名前の通り名古屋市のほぼ真ん中に位

置し鉄道、幹線道路も整備され、県庁・市役所・名古屋城が1セットで並んでいるのも特色の一つで、各国領事館・銀行・証券・ホテル・病院・デパートと官公庁・ビジネスの中心街となっている地域です。



愛知県庁



名古屋市役所

#### さかえまち 栄町周辺

「栄町」は名古屋を代表する繁華街です。その中心のひまやおどおりこうえん久屋大通公園にあるのが、1954年（昭和29年）に日本で最初に建てられた集約電波塔（テレビ塔）で、2005年（平成17年）にはタワーとして全国で初めて国の登録有形文化財となり、2006年（平成18年）6月14日にリニューアルオープンしました。

テレビ塔のすぐそばにある、夜になればネオンサインが輝く歓楽街、にしき錦3丁目 通称“キンサン”が全国的に有名（悪名高き）かと思われませんが、地元商店街からのお願いもあり、まだお出かけいただいていない方は穴場など紹介させていただきます。



テレビ塔



キンサン

#### おおす 大須周辺

大須の盛り場は大須観音（しんぶくじほうしょういん真福寺宝生院）を中心とする門前町として栄えてきました。参拝客目当ての土産物屋、掛け茶屋が盛り場、商店街へと姿が変わっていったもので、東京浅草と類似点が多く雰囲気も非常によく似ています。



大須観音

また、大須観音の近くにはきかくりんばんしょうじ亀岳林万松寺があり、特に戦前は名古屋の代表的繁華街として、市民は言うに及ばず東海一円から東京、大阪にまでその名を知られた街として栄えていたが、繁華街は戦災を受け、戦後の都市計画、交

通網再編、娯楽志向の変遷などもあり、栄町や名古屋駅前に一步譲った感がありますが、近年見直しの機運が市民、特に若者の間に広がり、昔日の賑わいが、この古き良き門前町に帰りつつあります。同時に名古屋の“アメ横”として家電、パソコン、ファッション等若者達の集まる街としてこれからますます栄えていくでしょう。



堀川



萬松不動明王

### 丸の内周辺

わが社のある中区丸の内1丁目は、旧町名が材木町と呼ばれていました。近くを流れる堀川があります。



名古屋城

名古屋城を中心とした城下町を形成するにあたり、当時の豊臣秀吉の子飼いの猛将福島政則が名古屋城築城のおり、船で物資を運ぶために造ったとされています。江戸時代には伊勢湾からの堀川を利用した船の交通が発達し豪商が多く住む地区で、特に、材木問屋が多くあった地域と推測されます。

堀川を隔てた反対側が西区になりますが、太平洋戦争時には名古屋市内の大空襲で大半の地区が焼失しましたが、中には焼け残った地区があり、60年以上経った現在、昭和レトロブームで建物をリニューアルして古い街並の再現と保存をしている一角があり、お洒落なレストランや喫茶店などが建ち並び、隠れた観光スポットにもなっています。



古い街並み

以上名古屋市中区の紹介をいたしました、名古屋にはほかにも古き良き物、新しき良き物が多数あります。機会がございましたら散策がてら、是非一度お立ち寄り下さい。